

平成 23 年 5 月 26 日  
(社) 日本ねじ工業協会 通常総会

平成 22 年度  
事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日  
至 平成 23 年 3 月 31 日

(平成 23 年)



社団法人 日本ねじ工業協会

## 目次

第1章 平成21年ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
1. ねじ産業未来開発プロジェクト事業	2
(1) 平成21年度事業について	2
(2) 平成22年度事業計画案の検討	3
2. 人材育成支援事業	3
(1) ねじ製造関連技術講習会	3
(2) 技術資格認定制度の創設事業(技術委員会実施事業)	3
(3) 圧造技術スクール	3
(4) 工場見学	3
3. 調査広報事業	4
(1) 広報事業	4
(2) ねじ関連統計の整理	4
(3) 従業員賃金、賃上げ、賞与に関する情報収集・提供	4
(4) 「ねじの日」関係事業	5
(5) その他	5
4. 国際協調強化対策事業	5
(1) 2009年五地域ねじ協会交流大会参加	5
(2) EPA(経済連携協定)／自由貿易協定(FTA)の情報収集・提供	5
(3) JETROの海外市場調査への協力	6
(4) 国内外ねじ関連企業工場見学	6
(5) その他	6
5. ねじ業界中期展望調査研究事業	6
(1) 小ねじ類のゆるみ試験に関する調査研究について	6
(2) 需要産業動向の調査	6
6. 技術振興事業	6
(1) WGの設置及び開催	6
(2) ねじ生産技術史(50周年記念誌)の編纂	6
(3) 日本職業分類(総務省)へのねじ製造業の職種の追加について	7
(4) 技術資格認定制度の創設事業	7
(5) 国内外のねじ規格の周知・情報提供	7
(6) ねじに関する安全啓発事業	7

(7) 技術関係書頒布 .....	7
(8) 環境対策関係情報の収集・提供 .....	7
(9) その他 .....	7
7. 組織強化事業 .....	7
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進 .....	7
(2) 公益法人関連法及び制度改正への対応 .....	8
(3) 諸規程整備準備 .....	8
(4) 政府経済対策への対応 .....	8
(5) 取引の適正化に係わる事業 .....	8
(6) サポートインダストリー振興事業支援 .....	8
(7) 協会創立 50 周年記念事業 .....	9
(8) 関連諸団体との連携強化 .....	9
(9) その他 .....	9
第3章 総会、理事会、委員会・部会、懇談会・懇親会等 .....	10
1. 総会、理事会 .....	10
(1) 総会 .....	10
(2) 理事会 .....	10
2. 委員会・部会 .....	11
(1) 委員会 .....	11
(2) 部会 .....	15
3. 懇談会・懇親会等 .....	16
4. ねじ商工連盟総会 .....	16
平成 21 年度会員数推移 .....	17
【参考 1】 第 49 回通常総会議事録 .....	18

## 第1章 平成22年ねじの生産・輸出入状況

(1) 生産 (出所：当協会推計)

重量：222万トン (対前年比 30.7%減)

金額：6,285億円 (対前年比 30.0%減)

数量・金額ともに大幅減少。(2年連続)

(過去最高 H19：数量(334万トン)・金額(9,005億円))

(2) 輸入 (出所：財務省貿易統計)

重量：19.7万トン (対前年比 26.9%増)

金額：572億円 (対前年比 16.1%増)

数量・金額ともに増加。

(過去最高 H19年：数量(21.2万トン)・金額(864億円))

(主要輸入先国：中国、台湾、米国(数量3位：韓国))

(3) 輸出 (出所：財務省貿易統計)

重量：31.1万トン (対前年比 38.1%増)

金額：2,358億円 (対前年比 32.3%増)

数量・金額ともに大幅増加。

(過去最高 S52：数量(38.1万トン)・H19年：金額(2,382億円))

(主要仕向地：中国、米国、タイ)

(参考) 需要業界生産動向 (出所：機械統計)

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
21年	793	129,258	8,469	22,173	18	4,903
22年	963	168,249	9,185	23,945	84	8,401
前年比	121.4%	130.2%	108.5%	108.0%	466.7%	171.3%

## 第2章 事業活動

### 1. ねじ産業未来開発プロジェクト事業

#### (1) 平成21年度事業について

プロジェクト推進委員会を開催（第三章 開催状況参照）して、平成20年度に組織した4つの事業グループ毎に具体的な事業活動を実施

#### 1) 業界啓発事業グループ

プロジェクトについて業界関係者の関心と理解の深化を図ると共に、我が国ねじ産業のものづくりへの貢献の歴史・高度化など、ファスニング産業としての重要な役割を啓発し強い魅力ある企業集団の形成を促すために、ねじ業界の商工団体が連携したねじ業界セミナーを開催。

- 中部地域セミナー（H22. 2. 24 開催）：愛知鋌螺協同組合と共催
- 関西地域セミナー（H21. 8. 26 開催）：大阪鋌螺卸商協同組合・関西ねじ協同組合と共催

#### 2) 産業PR事業グループ

- ① 協会内外向けに産業PRを目的としたパンフレットを制作して配布  
テーマ「信頼と安心のねじが設計の品質と安全を製品に締結します」

- ② 機械要素技術展への出展

ねじ業界の商工団体が連携して、ねじ業界では初めて「ねじ商工連盟」として出展展示。

- 商工の代表者による地域毎の出展小委員会を組織して検討を重ねて出展準備の検討及び出展展示対応を実施。（関東：H21. 4. 15 開催、関西：H21. 8. 19 及び同 8. 26 開催）
- その結果、東京展及び関西展の出展を実現。

- ・ 機械要素技術展 東京展

日程：6月24日～26日

場所：東京ビックサイト（ブース来訪者のうちアンケート回答者372名）

※ 6月24日 出展記念懇親会開催（於：会場内レストラン）

参加者数40名（内事業者団体より9名）

- ・ 機械要素技術展 関西展

日程：10月7日～9日

場所：インテックス大阪（ブース来訪者のうちアンケート回答者623名）

※ 10月7日 出展記念懇親会開催（於：会場付近ホテル）

参加者数39名（内事業者団体より3名）

#### 3) 組織整備事業グループ

ねじ産業の社会貢献を内外にPRしてねじ業界パワーを形成するために、ねじ産業全体の組織及びネットワークを整備するために、組織整備事業グループでは個別WGを開催（H22. 2. 24 開催）。検討の結果、ホームページとEメールをねじ産業のイメージ形成と情報交流活性化の最重点メディア（媒体）と位置付け、協会ウェブ（ホームページとEメール）をねじ産業の代表とするに相応しいものに改善。

- 独自ドメイン名及び協会事務局の新メールアドレスの取得
- ねじ業界の情報ゲートウェイとしてのホームページの検討・構築  
※ 協会自身からの情報発信力の養成と強化を目的に、会員企業及びねじの関係諸団体傘下の企業に対してIT担当者の登録を依頼し、今後ホームページ制作検討（更新含む）や情報連携を実現させる。

#### 4) 安全啓蒙事業グループ

- 技術委員会と連携して、会報に広く一般向けにねじの安全啓蒙記事を掲載。
- 平成22年6月1日 ねじの日 に向けた安全啓蒙事業を検討。

(2) 平成 22 年度事業計画案の検討

- ① 平成 21 年度に引続き組織整備事業グループでは、(ホームページを活用した) ねじ業界の情報ゲートウェイの構築を推進
- ② 平成 22 年度の協会創立 50 周年記念事業と連携して「ねじ産業の課題、未来への期待」をテーマに、諸課題の克服のためのフォーラムを開催。さらに将来への提言とするべきエッセイを募集することを決定(フォーラム・エッセイコンテスト大会(仮称)開催)
- ③ フォーラム・エッセイコンテスト大会(仮称)開催のために新たな組織を編成
- ④ 新組織によるフォーラム・エッセイコンテスト大会(仮称)の概要検討

2. 人材育成支援事業

(1) ねじ製造関連技術講習会(技術委員会実施事業)

日本ねじ研究協会との連携を検討していく中で、人材育成のための標準化に関する講演会を開催。

開催日	時間・場所 参加者数	テーマ・講師・その他
21.8.28	15:00~16:30 東京・機械振興会館 参加者 15 名	・テーマ:「標準化戦略を考える」 ・講師:日本ねじ研究協会 専務理事 大磯 義和 氏

(2) 技術資格認定制度の創設事業(技術委員会実施事業)

(3) 圧造技術スクール

旭サナック(株)と共催で開催。

平成 21 年度は、下記のとおり工程設計コース 3 回、金型設計コース 2 回の計 5 回開催し、計 112 名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第 1 回 21.6.23~25	工程設計コース	旭サナック(株)圧造技術センター 参加者 24 名
第 2 回 21.9.15~17	金型設計コース	" 参加者 24 名
第 3 回 21.10.6~8	工程設計コース	" 参加者 20 名
第 4 回 22.2.17~19	工程設計コース	" 参加者 24 名
第 5 回 22.3.17~19	金型設計コース	" 参加者 20 名

※圧造技術スクールが職業訓練の振興・育成に貢献した栄により、主催者の旭サナック(株)が厚生労働大臣表彰を受けた。

(4) 工場見学

21.12.18 14:00~15:30	(関東支部事業) 見学先:日産自動車(株) 横浜工場 参加者 26 名
22.3.2 10:00~16:20	(国際委員会事業) 見学先:名北工業株式会社、旭サナック株式会社 (岐阜県美濃加茂市、愛知県尾張旭市) 参加者 39 名

### 3. 調査広報事業

#### (1) 広報事業

##### ① 会報「ねじ」発行（年4回）

○ 対談トップに聞く（インタビュアー：椿省一郎 副会長・調査広報副委員長）

掲載号	対談者（対談場所）
平成22年4月号	・(株)ナリタテック 代表取締役社長 成田 誠 氏 (於：本社)
同 22年7月号	・紀州ファスナー工業(株) 代表取締役社長 中江 良一 氏 (於：和歌山工場)
同 22年11月号	・(株)イズラシ 代表取締役社長 堤 親朗 氏 (於：本社)
同 23年1月号	・(株)丸エム製作所 代表取締役社長 松元 収 氏 (於：大東工場)
同 22年4月号	・メイラ(株) 代表取締役社長 相澤 正己 氏 (於：関第一工場)

○ 海外子会社紹介

掲載号	掲載企業（進出先）
平成20年5月号	大川精螺工業(株) THAI OKAWA CO., LTD. (タイ)

② 当協会ホームページで活動状況の他、会員紹介(名簿)等の更新。

③ ねじ関連情報の収集・提供等

需要動向（平成21年度機械工業生産額見通し((社)日本機械工業連合会調査)、中小企業景況調査報告（中小企業基盤整備機構調査）他）等について会報及びホームページによる情報提供。

④ TV、報道各紙・誌などからのねじ・当協会に関する取材・問合せへの対応。

⑤ 経済産業省等行政庁への協力(調査協力等)・報告及び会員への施策情報等の提供。

- ・調査協力・報告 「雇用調整助成金について（調査依頼）」他
- ・情報提供 会報・ホームページ掲載・パンフレット送付等

⑥ ねじ関係報道各社(4紙・誌)に、ねじの日及び当協会PR広告の掲載を行った。

#### (2) ねじ関連統計の整理

ねじの出荷等について、当協会統計調査「ねじ月報」を調査対象企業向けに実施して集計・整理。また、財務省貿易統計及び米国商務省輸入統計を入手して、ねじ(HSコード7318類)について集計・整理。

#### (3) 従業員賃金、賃上げ、賞与に関する情報収集・提供

労務委員会では、労務調査対象企業67社に対して以下の調査を行い、回答企業には集計結果を報告。

調査名	調査内容・回答社数
①平成21年度従業員賃金調査	調査内容 ・従業員数、労働時間、休日、週休2日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規卒卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 24社 (集計結果は製本して頒布)
②平成21年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 18社
③平成21年夏期手当要求、妥結状況	回答 25社
④平成21年年末手当要求、妥結状況	回答 23社

(4) 「ねじの日」関係事業

ねじの日の記念事業を通じて、ねじ及びねじ業界のPRを実施。

- ・「ボルト型ボトル」(平成18年度ねじの日記念として作成)の通年頒布。  
(必要に応じ何時でも申し込める)
- ・「ねじキティ」根付(平成22年度ねじの日記念)の頒布決定・準備。
- ・ねじ商工連盟総会の開催

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会	21.7.29 12:00～14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者数 ねじ協会側 12名 ねじ商連側 16名	第1号議案 平成20年度収支決算報告並びに 剰余金処分案承認に関する件 第2号議案 平成21年度収支予算案承認に関する件 第3号議案 会長並びに副会長の改選について  (総会終了後) 商工推進のねじ産業未来開発プロジェクトによる 機械要素技術展東京展及び大阪展について意見交換

(5) その他、紙媒体からメールやホームページを活用した会員との調査回答・情報提供を推進。

4. 国際協調強化対策事業

(1) 2009年五地域ねじ協会交流大会参加

平成21年9月27日～29日の3日間に亘り、台湾 高雄で開催された五地域ねじ協会交流大会に参加。交流会議では、各地域代表者挨拶・各地域ねじ業界の現況報告・台湾香港、中国より「鉄鋼材料とねじ」のテーマで講演会を行った。

<大会概要>

- ① 日程 : 9月27日(日)～29日(水)
- ② 参加者 :
- |                      |      |
|----------------------|------|
| (社)日本ねじ工業協会          | 28名  |
| 中国機械通用零部件工業協會緊固件專業協會 | 33名  |
| 香港螺絲業協會              | 23名  |
| 韓国 Fasteners 工業協同組合  | 23名  |
| 台湾區螺絲工業同業公會          | 61名  |
| 合計                   | 168名 |
- ③ 大会構成 :
- 9月27日 ・代表者会議(竹中会長及び勝谷国際委員長が出席)
  - 9月28日 ・中鋼公司見学
  - ・交流会議 (於: 漢来大飯店)
  - ・歓迎晚餐会 (於: 同上)
  - 9月29日 3グループに分かれて行動
    - 1) 親睦ゴルフ大会(於: 高雄 大崗山ゴルフ場)
    - 2) 台湾ねじ企業工場見学  
(英徳工業、力大螺絲及び合豊螺絲)
    - 3) 台北観光

※次回(2010年五地域ねじ協会交流大会)開催地は、香港に決定

(2) EPA(経済連携協定) / 自由貿易協定(FTA)の情報収集・提供

- ・日本及び諸外国間のEPA協定締結状況、運用状況等の情報収集
- ・EPA交渉における原産地規則に関する情報の収集・提供
- ・EPAに関する活用セミナーの開催検討
- ・経済産業省からのEUのEPA協定に関する調査依頼等、調査協力依頼による調査協力



〈参考〉 日本における EPA/FTA の状況について		
シンガポール	2007年9月	発効 (改正議定書)
メキシコ	2005年4月	発効
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
フィリピン	2008年12月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
アセアン全体	2008年12月	発効
ベトナム	2009年10月	発効
スイス	2009年9月	発効
GCC (湾岸協力理事会) 加盟諸国 (サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマン)		
	2006年9月	交渉開始 (これまで2回交渉)
インド	2007年1月	交渉開始 (これまで8回交渉)
オーストラリア	2007年4月	交渉開始 (これまで10回交渉)
韓国	交渉再開に向けて努力中	
ペルー	2008年11月	投資協定署名
その他	EU/米国-民間で議論、日中韓-産官学で研究合意、アセアン+6・アセアン+3-政府間で議論の開始合意	

### (3) JETRO の海外市場調査への協力

日本貿易振興機構 (JETRO) が実施する下記の海外市場動向調査に協力 (内容確認等) (調査結果は JETRO の HP (<http://www.jetro.go.jp/world/asia/in/reports/>) に掲載)

- ・米国ねじ産業の市場調査
- ・インドねじ産業の市場調査

### (4) 国内外ねじ関連企業工場見学

- ・当協会賛助会員の工場見学 (人材育成事業参照)
- ・台湾のねじ製造企業の工場見学 (五地域ねじ協会交流大会参照)

### (5) その他

- ・北朝鮮からの輸入措置等の継続について情報提供
- ・会報で海外進出会員企業の紹介記事の掲載 (調査広報委員会実施事業)
- ・その他、国際関係に係わる経済産業省等の行政省庁からの協力依頼 (問合せ等) による対応

## 5. ねじ業界中期展望調査研究事業

### (1) 小ねじ類のゆるみ試験に関する調査研究について (外部委託)

○テーマ: 小ねじ類のゆるみ試験に関する調査研究 (継続事業)

研究期間: 平成 19 年度より 3 年間 (本年度終了)

委託先: 日本ねじ研究協会 (ゆるみ試験は、信州大学へ研究委託する)

研究概要: M2~M5 程度の小ねじについて、試験条件 (材質、強度区分、表面処理、使用環境等) を変えた数種類のゆるみ試験の試験データを収集して、耐ゆるみ性の標準的な試験方法の確立及び試験設備の開発のための調査研究実施

※ 報告書を受領 (平成 22 年度に報告会を開催する予定)

### (2) 需要産業動向の調査

- ・ねじ関連の需要産業動向の収集・提供等 (調査広報委員会実施事業)
- ・JETRO 海外市場調査への協力 (米国及びインドのねじ市場調査) (国際委員会実施事業)
- ・ステンレスねじ部会における台湾等アジアのステンレスねじ市場動向報告

## 6. 技術振興事業

### (1) 技術委員会に下記ワーキンググループ (以下 WG) の設置及び開催 (第三章 開催状況参照)

- ・資格制度 WG、・規格検討 WG、・技術史編纂 WG、・会員事業 WG

### (2) ねじ生産技術史 (50 周年記念誌) の編纂

- ・編纂委員会の設置
- ・ねじ生産技術史の編集方針の検討/決定
- ・執筆依頼候補者の選定/決定
- ・執筆依頼/執筆原稿の収集
- ・校正原稿作成及び校正 (技術史全体の字句/表現/形式等の調整含む)
- ・技術史の執筆者会議の開催 (H22. 2. 24 開催)

(3) 日本職業分類（総務省）へのねじ製造業の職種の追加について

- ・ 総務省の日本職業分類に対して、ねじ製造業の仕事及び金属ねじ類の製造工（者）等の職種追加に係わる要望作業を実施。（その結果平成 22 年度に追加されることが確定）

(4) 技術資格認定制度の創設事業

技術資格認定制度の創設に向けた事業として、関西ねじ協同組合と連携して、技能検定制度の創設に向けた事業と中央職業能力開発協会（以下、JAVADA）の職業能力評価基準策定のための事業の 2 つの事業を実施することを決定

- ・ 技能検定制度創設事業（関西ねじ協同組合との連携事業）  
これまで関西ねじ協同組合が実施していた技能検定制度創設に向けた技能検定制度用テキスト作成に対して、技術委員会（資格制度 WG）として正式に協力・連携した事業を開始
  - 1) これまで関西ねじで作成してきたテキストの内容確認
  - 2) 関西ねじで作成することが難しくなったテキストについて執筆に協力
  - 3) 平成 22 年度事業として、技能検定制度創設に向けた学科試験の実績づくりを優先し、全国展開に向けた体制を整えるために完成したテキストを活用した東京・名古屋・大阪における講習会の実施を決定
  - 4) 講習会の企画・運営を担当する実施部会を設置／講習会実施企画案の検討
- ・ 職業能力評価基準の策定事業
  - 1) JAVADA の職業能力評価基準策定のための委員会への委員推薦について検討し、品種毎・地域毎に、全体のバランスを考えた推薦委員候補者案を決定
  - 2) 平成 22 年度の JAVADA 実施の「職業能力評価基準の策定」事業において、委員会の設置・委員の推薦等への協力

(5) 国内外のねじ規格の周知・情報提供

- ・ 新 JIS 表示制度及び新 JIS 規格の付属書等の取扱いについて情報交換を実施して、今後の対応などについて検討を開始
- ・ ISO/TC1（ねじ基本）におけるインチねじ規格の復活について情報提供
- ・ 建築ねじ部会における社団法人公共建築協会の建築工事監理指針への JIS 製品の使用条件の追記要望対応作業
- ・ 会報における日本ねじ研究協会事業を紹介

(6) ねじに関する安全啓発事業

会報に、広く一般向けのねじの安全啓発記事「ねじの常識・非常識」（Q&A 形式）を掲載

掲載号	テーマ
平成 22 年 1 月号	Q-ねじが固くなっている時、緩めるために潤滑剤を使用していませんか？
平成 22 年 4 月号	Q-ねじには様々な色がありますが、その違いは何ですか？

(7) JIS ハンドブック・ねじ入門書・技術教育読本「ねじ」等ねじに関する技術関係書頒布

(8) EU（欧州）の新化学物質規制（REACH）、省エネ法・国内クレジット制度・温暖化対策等の環境対策関係情報の収集・提供

(9) その他

- ・ 日本工業標準調査会機械要素技術専門委員会への協力（平成 21 年で終了）
- ・ 財団法人日本品質保証機構への JIS 関係委員会へ（JIS 認証諮問委員会等）への協力

## 7. 組織強化事業

(1) 魅力ある協会運営のための事業推進

協会の財政の健全化、魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、委員会・部会活動を活性化

- ・ 7 委員会 政策委員会、技術委員会、調査広報委員会、労務委員会、国際委員会、財務委員会、ねじ産業未来開発プロジェクト推進委員会
- ・ 7 部会 ボルト部会、ナット部会、小ねじ部会、ソケットスクリュー部会、ステンレスねじ部会、特殊品ねじ部会、建築用ねじ部会

(2) 公益法人関連法及び制度改正への対応  
(説明会出席、新会計基準への対応、その他認定手続き申請準備等)

(3) 諸規程整備準備

(4) 政府経済対策への対応

- ・ 情報提供等政府施策活用促進
- ・ 景気対応緊急保証の業種指定(延長)申請への協力・業種指定の広報

(5) 取引の適正化に係わる事業

- ・ 政府の下請取引適正化対策の周知・対応  
(下請適正取引ガイドラインのPR、活用状況等の情報収集、  
下請取引適正化についての調査の実施、  
その他、取引の適正化に係わる情報の会報等による情報提供)
- ・ 下請関係委員会(全国中小企業団体中央会 委員会)への協力
- ・ 部会・ねじ商工連盟総会等における原材料関係等に対する意見交換

(6) サポートイングインダストリー振興事業支援

① 「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援関係日程(平成21年度)

- ・ 特定研究開発等計画認定申請・認定 ※1
- ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業 公募 4月21日～5月16日
- ・ 公募 委託先決定 7月31日/8月31日/10月19日(※2)

② 特定研究開発等計画の認定・公募について(全20基盤技術)

		認定		公募	
		法律に定める「中小企業の特定ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」に沿って、中小企業が自ら行う「特定研究開発等計画」を各経済産業局へ申請		認定された特定研究開発等計画について、各経済産業局(※3)からの公募に対して応募申請(公募申請には、認定が必須条件)	
		経済産業大臣が認定		各経済産業局(※3)からの委託	
		認定を受けた場合の支援措置: ・ 研究開発への資金面の助成(右欄公募の応募条件取得) ・ 信用保証制度の特例 ・ 中小企業投資育成株式会社による投資の特例 ・ 特許料等の特例 ・ 中小企業金融公庫の低利融資制度		採択された場合の支援措置: 各経済産業局(※3)が資金面(委託費)で支援	
		認定申請	認定	公募申請	公募採択
平成18年度	件数	399	399	323	80
	部材の結合件数(内会員)	5 (2)		3 (公表なし)	2 (2)
	予算額	—		64億円	
平成19年度	件数	234	234	218	89
	部材の結合件数(内会員)	5 (一)(不詳)		4 (公表なし)	2 (1)
	予算額	—		93.6億円	
平成20年度	件数	132	132	134	48
	部材の結合件数(内会員)	0 (0)		2 (公表なし)	1 (0)
	予算額	—		88.0億円	
平成21年度	件数	654(8月末現在)	654(8月末現在)	200/658(※2)	44/253(※2)
	部材の結合件数(内会員)	公表なし		1/7(※2) (一)(公表なし)	1/1(※2) (0)
	予算額	—		54.0億円/132億円(※2)	
平成22年度	予定スケジュール	随時受付 (平成22年度の公募申請に必要な認定申請については4/22締切のため既に終了)	4/22で終了	4月1日 ～ 4月22日(既に終了)	受付終了後、約3ヶ月の見込
	予算額	—		150.1億円(予算案)(※4)	
本制度に関する問合せ先	中小企業庁 経営支援部技術課:TEL 03-3501-1816 各経済産業局:経済産業省ホームページ <a href="http://www.meti.go.jp/intro/data/a240001j.html">http://www.meti.go.jp/intro/data/a240001j.html</a>				

- ③ 公募採択については、必要に応じてヒアリングを実施し、各経済産業局（※3）において指名する外部有識者等により構成される採択審査委員会において、下記審査項目に基づき審査され予算額の範囲内で採択される。

＜審査項目＞（全9項目）

- I. 技術面からの審査項目（4項目）  
・技術の新規性、独創性及び革新性、技術の波及的効果等 他2項目
- II. 事業化面からの審査項目（3項目）  
・事業化計画の妥当性、事業化による経済波及効果等 他1項目
- III. 政策面からの審査項目（2項目）  
・産業政策との整合性、中小企業政策との整合性

- ※1 ・特定研究開発等計画認定申請については随時受付  
・平成19年度より特定研究開発等計画認定案件の詳細情報の公表なし
- ※2 平成21年には補正予算による公募あり  
また、補正予算による公募は2回に分けて採択（計3回）一表中は補正予算公募分を合算
- ※3 公募には一般枠（研究開発費用:6千万円以下）と川下分野横断枠（同:1億5千万円以下）がある一表中は合算（平成18年度分のみ中小基盤整備機構分があり）
- ※4 継続案件分含む

- ④ サポートインダストリー振興事業の活用促進について

会員啓発のための情報収集・情報提供

（公募・認定関係情報提供、問合せへの対応、パンフレット配布等）

- ⑤ 商工組合中央金庫との提携ローンを周知

当協会会員が「特定ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」に沿って行う技術開発に対する商工組合中央金庫の融資制度(当協会との提携ローン)について周知

- (7) 協会創立50周年記念事業

- ・協会創立50周年記念事業に係わる特別委員会の設置
- ・協会創立50周年記念事業に係わる諸規定の整備（準備）
- ・協会創立50周年記念事業の事業計画案の概要策定
- ・フォーラム・エッセイコンテスト大会（仮称）の事業計画案の概要検討  
（ねじ産業未来開発プロジェクト推進委員会との連携事業）
- ・50周年記念誌編纂作業
  - － 編纂委員会の設置
  - － 記念誌の編集方針の検討／決定
  - － 日本ねじ工業史（15周年記念誌）のCD化についての検討／決定
  - － 協会関係資料（写真等）の収集作業
  - － ねじ生産技術史の編纂（技術委員会との連携事業）
  - － 50周年記念誌の全体の字句／表現／形式等の調整
- ・その他、協会創立50周年記念事業における準備（会場予約等）

- (8) 日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化

- ・会報に日本ねじ研究協会の紹介記事掲載（技術委員会実施事業）
- ・ねじ製造関連技術講習会の開催（日本ねじ研究協会より講師派遣）
- ・機械要素技術展における出展準備に係わるねじの商工団体の新たな連携強化

- (9) その他

- ・団体グループ保険制度、国内・輸出向け団体PL保険制度加入拡充の促進のため会員宛に団体保険制度の案内パンフレットを送付
- ・経済産業省が実施した、人材育成に熱心な製造・サービス業分野の中小企業を、ホームページを利用して紹介する事業への協力  
（事業目的:採用意欲のある中小企業の情報発信することで雇用のミスマッチを解消）
- ・経済産業省等の行政省庁との情報交換  
（会員企業への企業訪問の対応、情報交換会の開催）

### 第3章 総会、理事会、委員会・部会、懇談会・懇親会等

#### 1. 総会、理事会

##### (1) 総会

第49回通常総会は、5月27日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第49回 通常総会	21.5.27 15:00~17:30 東京・ 浜松町 東京會館 出席149名 (内委任状 76名)	第1号議案 平成20年度事業報告書(案)並びに平成20年度決算報告書(案)承認に関する件 第2号議案 平成21年度事業計画書(案)並びに平成21年度収支予算書(案)承認に関する件 第3号議案 平成21年度会費規程(案)承認に関する件 第4号議案 任期満了に伴う役員改選の件 総会終了後懇親会 来賓挨拶 経済産業省製造産業局産業機械課長 米村 猛 様

##### (2) 理事会

平成21年度も5回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
4月理事会	21.4.23 14:00~15:30 大阪・ ホテル日航大阪 出席55名 (内委任状 29名)	第1号議案 総会付議案件について ①平成20年度事業報告書(案)並びに決算報告書(案)について ②平成21年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)について ③平成21年度理事・監事及び委員会役員候補(案)について ④平成21年度会費規程及び入会金(案)について 第2号議案 スチールハウス用ドリルねじ製品規定の改正について(案)
7月理事会	21.7.16 14:00~15:30 名古屋・ ホテルサルト・プラザ 出席59名 (内委任状 27名)	第1号議案 委員会・部会への全員参加による協会活性化の推進 第2号議案 平成21事業年度各委員会の事業活動の方針 (政策・調査広報・労務・国際・技術・ねじ産業未来開発PJ推進) 第3号議案 会員入会の増強活動等について 第4号議案 理事の交替について
9月理事会	21.9.17 14:00~15:30 東京・ 機械振興会館 出席59名 (内委任状 11名)	第1号議案 当協会への入会申請について 第2号議案 部会長候補(案)決定について 第3号議案 技術資格認定制度についての説明等 (中央職業能力開発協会による職業能力評価基準についての説明) 第4号議案 協会設立50周年記念事業企画案について 報告事項 関西機械要素技術展準備状況について
12月理事会	21.12.10 15:00~17:00 大阪・ ホテル日航大阪 出席59名 (内委任状 22名)	第1号議案 会員の入退会(案)について 第2号議案 平成22年度行事予定(案)について 第3号議案 創立50周年記念事業計画(収支予算)案について
3月理事会	22.3.25 14:00~15:10 東京・ 機械振興会館 出席59名 (内委任状 15名)	第1号議案 総会付議案件について ①平成21年度事業報告書(案)について ②平成21年度決算報告書(案)について ③平成22年度事業計画書(案)について ④平成22年度収支予算書(案)について ⑤平成22年度会費規程(案)について 第2号議案 役員の交替について 第3号議案 専務理事の互選案について 第4号議案 その他ドリリングタピンねじ等の建築資材指定について



## 2. 委員会・部会

### (1) 委員会

#### ○ 政策委員会

	議題・その他
政策委員会 (幹部会) (竹中弘忠委員長)	・ 協会運営について 平成 21 年度 第 1 回 (21. 4. 23) 以後全 7 回

#### ○ ねじ産業未来開発プロジェクト推進委員会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
第一回 (田島祥一委員長)	21.4.23 16:00~17:00 大阪・御堂会館 参加者 10 名	・ 平成 21 年機械要素技術展 (東京展) 出展企画について - 外部 P R 用パンフレット他について
第二回	21.5.27 14:00~15:00 東京・浜松町 東京會館 参加者 14 名	・ 平成 21 年度事業の実施案について - 事業毎の具体案
第三回	21.7.16 11:00~14:00 名古屋・ホテル サンルート名古屋 参加者 14 名	・ 平成 21 年度事業の推進について - 各事業毎の具体的推進について
第四回	21.9.17 15:30~17:00 東京・ 機械振興会館 参加者 16 名	・ 関西 機械要素技術展 出展打合せ
第五回	21.12.10 13:00~14:30 大阪・ホテル 日航大阪 参加者 16 名	・ 展示会出展報告について ・ 業界外パンフレットについて ・ 業界内啓発 (PR) について ・ 業界 NETWORK 構築 (HP を通じた) について
第六回	22.2.24 13:00~15:00 名古屋・キャッ スルプラザ 参加者 13 名	・ ネットワーク (構築) 案の提出、討議 ・ 平成 22 年度事業企画案の討議
第七回	22.3.25 15:30~16:30 東京・ 機械振興会館 参加者 18 名	・ 中部地区ねじ業界セミナー開催報告について (業界啓発事業 GR) ・ 協会 Web 再構築作業経過報告について (組織整備事業 GR) ・ フォーラム・エッセイコンテスト大会について
組織整備事業 GR (勝亦良彰 リーダー)	22.2.24 11:00~13:00 名古屋・キャッ スルプラザ 参加者 4 名	・ HP 作成業者の選定 ・ HP 発注時のグループコンセプトの確認と意見の集約 ・ HP 作成後のスケジュールの調整 ・ 各案件の取り組みについて

○ 技術委員会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
技術委員会 (椿省一郎委員長)	21.6.15 13:00～15:00 機械振興会館 参加者 25 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術委員会事業の進め方について               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ ワーキンググループ (WG) の設置について</li> </ul> </li> </ul>
技術委員会 資格制度 WG (北尾八三ー WG リーダー)	21.7.17 13:30～15:00 機械振興会館 参加者 10 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格制度創設に向けた今後の進め方について               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ JAVADA からの説明及び出席委員との意見交換</li> </ul> </li> </ul>
	21.8.7 13:30～15:00 機械振興会館 参加者 4 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力評価基準に制度について               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ JAVADA との意見交換</li> </ul> </li> </ul>
	21.8.27 14:00～16:00 機械振興会館 参加者 14 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力評価基準作成時期と技能検定制度創設に向けたテキスト作成について</li> </ul>
	21.11.12 12:00～15:00 機械振興会館 参加者 14 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能検定制度の創設について</li> <li>・関西ねじ協同組合のテキスト作成における進捗状況及び課題・問題点等</li> <li>・本WGにおける技能検定制度（創設）との連携について</li> <li>・職業能力評価基準の創設について</li> <li>・職業能力評価基準の創設に必要な準備及び課題等</li> </ul>
	22.2.23 10:30～15:00 機械振興会館 参加者 13 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力評価基準の創設について               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 職業能力評価基準の創設に必要な準備について</li> <li>－ JAVADA 委員会への委員候補者推薦について</li> </ul> </li> <li>・技能検定制度の創設について               <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 関西ねじ協同組合作成のテキストについて</li> <li>－ 本WGにおける技能検定制度（創設）との連携について</li> </ul> </li> </ul>
	22.3.30 13:00～15:00 機械振興会館 参加者 13 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねじ検定講習会スケジュール及び講習内容等について</li> </ul>
技術委員会 会員事業 WG (勝谷辰三 WG リーダー)	21.8.28 16:30～17:30 機械振興会館 参加者 5 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の事業の進め方について</li> </ul>
	21.10.14 10:30～12:00 機械振興会館 参加者 10 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全啓蒙事業の具体化について</li> </ul>
	21.12.1 10:30～12:00 機械振興会館 参加者 10 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねじに関する常識・非常識について</li> <li>・会報への事例発表の趣旨説明について</li> <li>・事例発表における今後の編集方法について</li> </ul>

技術委員会 技術史編纂 WG (佐藤義則 WG リーダー)	21.7.8 16:30～ 機械振興会館 参加者 5 名	・ 創立 50 周年記念誌作成について
	21.7.29 14:00～16:30 浜松町 東京會館 参加者 9 名	・ 創立 50 周年記念誌作成について
	21.8.27 15:30～17:00 機械振興会館 参加者 9 名	・ 創立 50 周年記念技術史テーマ別執筆者割振り案について
	21.10.14 13:30～16:30 機械振興会館 参加者 20 名	・ 創立 50 周年記念技術史 製品別項目のレジメ発表・検討
	21.11.12 11:00～12:00 機械振興会館 参加者 4 名	・ 創立 50 周年記念技術史（関連業種）の執筆依頼について
	22.2.24 15:00～17:00 キャッスルプラザ 参加者 24 名	・ 創立 50 周年記念技術史の原稿についての最終討議 － 技術史全執筆担当者との検討会
技術委員会 規格検討 WG (相澤正己 WG リーダー)	21.8.28 13:00～15:00 機械振興会館 参加者 15 名	・ ねじ関係規格について（規格の現状及び検討対象など） ・ 今後の進め方について
技術委員会 (椿省一郎委員長)	22.3.2 10:00～16:20 参加者 40 名	・ 工場見学 見学先：名北工業株式会社、旭サナック株式会社 (岐阜県美濃加茂市、愛知県尾張旭市)



○ねじ産業未来開発プロジェクト講演会・懇親会（商工共催）（業界啓発事業グループ（GR））

	日時・場所 参加者数	参加団体・その他
中部地域	22.2.24 15:00~17:00 名古屋・キャッ スルプラザ 参加者 50 名	<参加団体> ・愛知鋸螺商協同組合 14 名 ・社団法人日本ねじ工業協会 36 名 <懇親会> 17:30~19:00
関西地域	21.8.26 18:00~19:30 大阪・ホテル アウィーナ 参加者 93 名	<参加団体> ・関西ねじ協同組合 32 名 ・大阪鋸螺卸商協同組合 42 名 ・社団法人日本ねじ工業協会 19 名 <懇親会> 19:30~21:00

○機械要素技術展出展小委員会

	日時・場所 参加者数	参加団体・内容・その他
関東展	21.4.15 14:00~16:00 東京・ 機械振興会館 参加者 14 名	<内容> 出展詳細検討 <参加団体> ・東京鋸螺協同組合 ・神奈川鋸螺協同組合 ・東部ファスナー協同組合 ・関東鋸螺釘工業協同組合 ・社団法人日本ねじ工業協会 他事務局
関西展	21.8.19 13:30~15:30 大阪・関西支部 会議室 参加者 6 名	<内容> 関西地域における今後の進め方等 <参加団体> ・関西ねじ協同組合 ・社団法人日本ねじ工業協会 他事務局
	21.8.26 15:00~15:30 大阪・関西支部 会議室 参加者 6 名	<内容> 出展詳細検討 <参加団体> ・関西ねじ協同組合 ・大阪鋸螺卸商協同組合 ・社団法人日本ねじ工業協会 他事務局

○HP 改訂に向けた IT 担当者との懇談会（組織整備事業グループ（GR））

	日時・場所 参加者数	参加団体・内容・その他
関東地域 (高須俊行議長)	22.4.16 15:00~16:30 東京・ 機械振興会館 参加者 9 名	<内容> 協会 HP 案による意見交換 等
中部地域 (安藤秀文議長)	22.4.15 15:00~16:30 名古屋・キャッ スルプラザ 参加者 8 名	<内容> 協会 HP 案による意見交換 等
関西地域 (勝亦良彰 リーダー)	22.4.14 15:00~16:30 大阪・関西支部 会議室 参加者 13 名	<内容> 協会 HP 案による意見交換 等

(2) 部会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (田島祥一部会長)	(第一回) 21.6.19 14:00～15:30 大阪・関西支部会議室 参加者 11 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>・ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
	(第二回) 21.9.15 14:00～16:00 参加者 12 名 講演講師 1 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会     テーマ「最近のアジア地区のステンレスねじ         業界の情勢等について」     講師 アジアプランニング(株)         営業マネージャー 稲美智和 氏</li> <li>・ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
	(第三回) 21.12.15 17:00～18:00 大阪・北むら（心斎橋） 参加者 11 名、来賓 4 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>・ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
	(第四回) 22.3.30 14:00～ 大阪・関西支部会議室 参加者 11 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾のステンレスねじ市場動向について     講師:(株)三和鋳螺製作所         代表取締役社長 榎本宏志 氏</li> <li>・ステンレスねじの輸出入状況等について</li> <li>・ステンレスねじ市況状況について</li> </ul>
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	21.10.15 12:00～14:30 ホテルアソシア名古屋ターミナル 参加者 14 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連業界の動向について</li> <li>・情報交換</li> </ul>
	22.1.28 17:00～19:00 東京會館 参加者 27 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賀詞交歓会</li> </ul>
小ねじ部会 (望月正紀部会長)	21.11.17 14:00～15:30 機械振興会館 参加者 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換 等</li> </ul>
小ねじ部会 (望月正紀部会長) 特殊品ねじ部会 (松田英成部会長)	22.3.25 10:30～12:30 機械振興会館 参加者 24 名	<p>(2 部会共同開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会運営方針・課題検討</li> <li>・情報交換 等</li> </ul>

### 3. 懇談会・懇親会等

#### 懇談会・懇親会等の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	21.5.27 東京・浜松町 東京會館	16:30~18:30 参加者 96 名
関西支部懇談会・懇親会 (嶋田亘支部長)	21.6.15 大阪・シェラトン都ホテル	懇談会 16:00~16:30 情報交換会 16:30~17:30 懇親会 17:30~18:30 参加者 36 名
中部支部懇談会・懇親会 (長谷川款一支部長)	21.7.16 サンルートプラザ名古屋	懇談会 16:00~16:30 懇親会 16:30~18:30 参加者 36 名
忘年会 (12月理事会)	21.12.10 大阪・ホテル日航大阪	講演会 15:30~16:30 情報交換会 16:30~17:30 忘年会 17:30~19:00 参加者 54 名
関東支部懇談会 <工場見学・忘年会> (勝谷辰三支部長)	21.12.1 見学先：日産自動車(株) 横浜工場	懇談会(工場見学) 14:00~16:00 忘年会 16:30~18:00 参加者 25 名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	22.1.18 東京・浜松町 東京會館	15:00~17:00 参加者 175 名
中部支部懇親会	22.2.24 名古屋・キャッスルプラザ	17:30~19:00 参加者 36 名

### 4. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会	21.7.29 12:00~14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者数 ねじ協会側 12 名 ねじ商連側 16 名	第 1 号議案 平成 20 年度収支決算報告並びに 剰余金処分案承認に関する件 第 2 号議案 平成 21 年度収支予算案承認に関する件 第 3 号議案 会長並びに副会長の改選について (総会終了後) 商工推進のねじ産業未来開発プロジェクトによる機 械要素技術展東京展及び大阪展について意見交換

【平成22年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員 (内団体)	155 (5)	2 (0)	4 (0)	153 (5)
賛助会員	35	5	1	39
合計	190	7	5	192

平成22年度入会社数

正会員2社 賛助会員5社

正会員	株式会社ダイロック	(関西支部)
	株式会社千葉精螺	( " )
賛助会員	株式会社信光ステンレス	
	協同特殊鋼線株式会社	
	協同シャフト株式会社	
	ハマニシ精機株式会社	
	株式会社東洋金属熱錬工業所	

平成22年度退会社数

正会員4社 賛助会員1社

正会員	日本パワーファスニング株式会社	(関西支部)
	株式会社トープラ	(関東支部)
	ミネベア株式会社ロッドエンド・ファスナー事業部	(関東支部)
		(中部支部)
賛助会員	鈴三工業株式会社	
	大同マシナリー株式会社	

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成15年度(03)	2 (0)	7 (1)	180 (7)	212 (7)
	2	0	32	
平成16年度(04)	1 (0)	4 (0)	177 (7)	209 (7)
	0	0	32	
平成17年度(05)	3 (0)	7 (0)	173 (7)	205 (7)
	0	0	32	
平成18年度(06)	1 (0)	6 (1)	168 (6)	200 (6)
	0	0	32	
平成19年度(07)	2 (0)	8 (0)	162 (6)	195 (6)
	2	1	33	
平成20年度(08)	1 (0)	10 (0)	153 (6)	184 (6)
	0	2	31	
平成21年度(09)	9 (0)	7 (1)	155 (5)	190 (5)
	4	0	35	

上段：正会員（内団体数）

下段：賛助会員

## 【参考1】第50回通常総会議事録

1. 日 時  
平成22年5月27日（木曜日） 15:00～16:10
2. 場 所  
東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル39階 浜松町東京會館「チェリールーム」
3. 出席者  
正会員総数 156名  
出席正会員数 147名（うち委任状による出席者74名）
4. 議 題  
議題1 平成21年度事業報告書(案)並びに平成21年度決算報告書(案)承認に関する件  
議題2 平成22年度事業計画書(案)並びに平成22年度収支予算書(案)承認に関する件  
議題3 平成22年度会費規程(案)承認に関する件  
議題4 理事の補欠選任(案)承認に関する件  
議題5 その他 専務理事の交替及び創立50周年記念事業について
5. 議 事  
大磯義和専務理事より、出席正会員数につき、定款第24条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし、定足数に達している旨報告。  
定款第23条（総会の議長は、会長があたる）の規定により、竹中弘忠会長が議長となった。議事に入る前に来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 木下利明氏より挨拶があった。続いて議長が本日の議事録署名人に勝谷副会長、長谷川副会長を選任して議事に入った。

### 議題1 平成21年度事業報告書(案)並びに平成21年度決算報告書(案)承認に関する件

専務理事より、資料1-1「平成21年度事業報告書(案)」及び資料1-2「平成21年度決算報告書(案)」に基づき説明。

続いて監事を代表して田中良典監事より「去る4月20日に監事2名が社団法人日本ねじ工業協会 本部において、平成21年4月1日から平成22年3月31日迄の事業年度における事業内容、帳簿、証票書類並びに決算書(案)をつぶさに監査した結果、全て正確かつ適正であるものと認める」旨報告した。

議長より議題1を議場に諮った結果、異議なく承認された。

- 議題2 平成22年度事業計画書(案)並びに平成22年度収支予算書(案)承認に関する件
- 議題3 平成22年度会費規程(案)承認に関する件

議長より、議題2、議題3は関連するため一括して審議したい旨説明。また今期より協会の事業を全員参加で行うこととするため、事業計画及び収支予算を委員会及び部会別に分けて計画している。そのため事業計画は各委員会委員長よりそれぞれ説明をおこなう旨報告。資料2-1「平成22年度事業計画書(案)」に沿って各委員会委員長より今期の委員会事業の活動予定について説明があった。なお、部会についてはまだ開催されていない部会もあるため、一括して専務理事より部会関連及びその他の事業計画の説明

をおこない、それに伴う資料 2-2「平成 22 年度収支予算案」の説明を併せて行った。

また、資料 3「平成 22 年度会費規程(案)」については、実態に即していない設定となっているため、改定した規程案が平成 20 年 12 月の理事会で承認されたが、急激な景気の悪化により当面凍結としている。現在もいまだ景気が回復に至っていないため、今年も改正を行わず、従来の規程どおりとしたい旨専務理事より説明があった。

議長より議題 2、議題 3を一括して議場に諮った結果、異議なく承認された。

#### 議題 4 理事の補欠選任(案)承認に関する件

議長(会長)より資料 4「理事の補欠選任(案)」に基づき、平成 21 年 6 月以降の理事会で補欠選任された理事について、退任理事及び新任理事を紹介し、議長がこれを諮った結果、異議なく承認された。

##### <退任理事>

峰 岸 輔

株式会社トープラ 前代表取締役社長

##### <退任常勤理事>

貝 田 努

##### <新任理事>

長 瀬 悠 一

株式会社トープラ 代表取締役社長

##### <新任常勤理事>

大 磯 義 和

#### 議題 5 その他

##### ① 専務理事の交替について

竹中会長(議長)より貝田専務理事の退任に伴い、平成 22 年 3 月理事会で大磯理事が理事の互選により専務理事就任の承認を得た旨報告があった。

##### ② 創立 50 周年記念事業について

田島副会長より記念事業の内容(記念式典、フォーラム及びエッセイコンテスト等)の開催について説明があった。

議長は、以上をもって第 50 回通常総会の議事をすべて終了した旨を述べ、16 時 10 分終了した。

続いて平成 22 年春の褒章受章等の報告を行い、受賞者より謝辞があった。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成 22 年 5 月 27 日

社団法人 日本ねじ工業協会

議 長	会 長	竹 中 弘 忠
署名人	副会長	勝 谷 辰 三
署名人	副会長	長谷川 款 一